

1. 件 名：北海道電力株式会社泊発電所の事業者防災訓練に実施した令和元年度課題対策に対する評価結果について

2. 日 時：令和2年12月21日 10:03～11:07

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、落防災専門官、宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力業務グループ グループリーダー 他14名

5. 要 旨

北海道電力株式会社から、令和2年11月27日に実施した同社泊発電所の原子力事業者防災訓練で実施した令和元年度の訓練課題に対する問題・課題、原因、改善策、改善策の有効性、評価結果について、まとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁より、本店の課題であった共通状況図(COP)の共有情報の差の発生に対して、その目的であるプラント状況の把握と共有の必要性を考慮し、改善策の再検討を伝えた。また発電所の課題の1つである、FAX通報の改善に対しては、今回の改善策の実施担当者を明記し、役割分担として位置づける必要成がある旨を伝えた。更には上記2項目の記載の見直しを実施した上で、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

北海道電力株式会社から、今回の改善策については防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

また原子力規制庁より、今回の訓練のERC対応ブース内における情報展開、COPの活用、原子力規制庁への提供情報精査及びリーダーシップの不足が確認されたため、これらに対する十分な対策の必要性を伝えた。

北海道電力株式会社から、令和2年度訓練で発生した課題については、早期に取り纏め説明する旨の発言があった。

6. その他

配布資料

資料1：2020年度泊発電所原子力防災訓練時の対応状況(2019年度泊発電所原子力防災訓練時の課題を踏まえた評価結果(案))

北海道電力株式会社